

藤島獅子舞



指定区分	市指定文化財
種別	市無形文化財
名称・員数	藤島獅子舞
所在地	十和田市大字藤島
保護団体	藤島獅子舞保存会
指定年月日	昭和 46 年 12 月 13 日
概要	<p>藤島獅子舞は、集落の佐々木家が屋敷内に祀っていた金毘羅権現の信仰に付随して、八戸市新井田方面から伝えられたとされる。この佐々木家は近江源氏、佐々木四郎高綱の末流ともいわれ、1686（貞享3）年に藤島に定着した後は代々弥兵衛を名乗り、村の要職を歴任した。</p> <p>獅子舞は、明治初頭に金毘羅権現が廃社になったことから一時中断したが、1884（明治 17）年ころに隣村の伝法寺神楽の指導により復活した。1969（昭和 44）年 3 月 4 日、藤島獅子舞保存会が設立された。この芸能の演目として、「権現舞」のほかに、神舞（あらまい。祈禱舞）の「山の神舞」「虎の口舞」「注連切舞」「両剣舞」「蒼前舞」「薬師荒神舞」「二宝荒神舞」「三宝荒神舞」、武士舞の「番楽舞」「信夫舞」「屋島舞」「鞍馬舞」、祝舞の「三番叟舞」「鳥舞」「女舞」「翁舞」「花舞」「盆舞」「小獅子舞」、その他に「すずめぼり狂言」「ばくろう狂言」がある。</p>